

赤沢左俣

ろうか。一段目は気持よくシャワークライミングする。二段目、三段目とも快適に登れる。あとはナメや小滝が続いて、8時50分二俣となる。

右に進んで10分程歩いた所で沢からあがり、右にやぶをこいで10分程で車道に出る。(記・)

[タイム] 出合(6:15)→二俣(6:35)→沢終了(9:00)→車道(9:10)

### 赤沢右俣(下降)

1983年7月24日

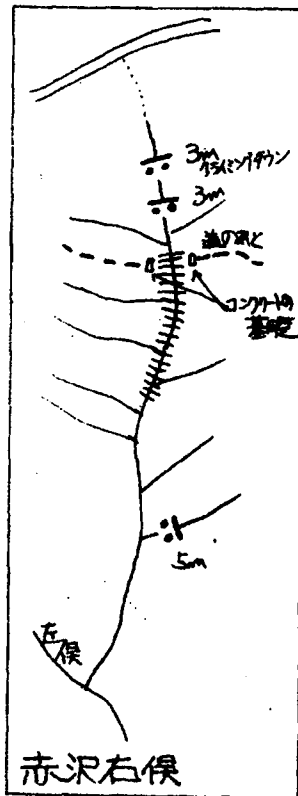
L

下降を始めたらすぐ小滝。慎重にクライミングダウンする。そのあともう1つの小滝を越える。まもなく道のあとが沢を横切っている所に出た。甲子峠に向けて、昔はたくさんの人や馬が通った道のようなが、今は通る人となく、荒れるにまかされている。

ここからしばらくは川床が岩盤となり、ナメが続いていて気持よく歩く。しかし、このあと全然滝もないままで、二俣に着いてしまった。2時間で下降終了。

(記・)

[タイム] 下降開始(9:50)  
→終了(11:50)



赤沢右俣

### エンマ沢

1983年7月24日

L

事前の予想では、長い時間かかるだろうということだったが、滝が少なかったことや、難しいルートがな